

# 全国連盟通信



つなごう 支援の輪

新日本スポーツ連盟

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル402

TEL: 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403

Eメール: zenkoku@njsf.net URL <http://www.njsf.net>

第31期 No.1  
2014年4月24日  
発行責任者  
和食昭夫

## スポーツ連盟の50年と東京オリンピックを考える ＝第31期のスタートに当たって＝

全国連盟理事長 和食昭夫

新日本スポーツ連盟（「スポーツ連盟」）は、来年2015年11月12日に創立50周年という大きな節目迎えます。さきの第31回定期全国総会は、この創立50周年を「運動と組織の前進の中で迎えよう」の標語を掲げ成功裏に行われました。

ところで、東京では56年ぶりに2020東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まり、その準備が急ピッチで進められています。「新体連」の創立とスポーツ連盟創立50周年がいずれも国内でのオリンピック開催と関わっていることに歴史的な必然性を感じます。創立50周年を前進の中で迎える活動の出発に当たって、「スポーツ連盟の50年と東京オリンピック」を考えてみたいと思います。

1964年10月に開催された東京五輪は、功罪ありつつも、かけがえない平和の祭典として、また、人間の能力の限界に挑戦するフェアなスポーツのすばらしさを国民全体に強く印象づける戦後初めてのスポーツの祭典となりました。特に、経済の高度成長のもとで、厳しい労働と勉学のなかでスポーツへの切実な要求が渦巻く青年学生にとって、勇気と希望を抱かせる舞台ともなりました。

「新体連」創立をはぐくんだ第1回全国青年スポーツ祭典（1963年6月30日、横浜市・三ツ沢競技場他）の第1回実行委員会（1963年3月21日開催）の提案文章を見ると、「働く青年が、実際にスポーツをやる権利を要求して、活動を広げる。スポーツ祭典を各府県や地区で行うとともに、『いつでも、どこでも』持続的、日常的にスポーツが行われるよう努力する」こととあわせて「東京オリンピックを真に“平和と友好の祭典”にするよう政府やスポーツ団体に要求していく」ことがうたわれています。ここでは、自からのスポーツ要求の実現のために大いに活動することと、東京オリンピックをオリ

↓1960年代の全国青年スポーツ祭典



ピック精神に沿ったものとして成功させることの両者を統一的にとらえて運動を進めようとしていることがはっきりと示されています。しかも、この時点で「スポーツをやる権利」や『いつでも、どこでも』スポーツがおこなわれるようにという今日につながる基本理念がしめされており、先人たちの見識の高さに感動を覚えます。64年東京五輪は、全国青年スポーツ祭典を生み出すとともに、新体連の創立をも準備したといっても過言ではありません。これこそ、64年東京五輪の貴重なレガシー（遺産）といえるでしょう。

スポーツ連盟は生まれて50年、大きく育っています。「スポーツは万人の権利」は、スポーツ基本法に反映される新たな時代を迎えています。今後、様々な課題が立ちふさがることはあっても、今日の到達点に確信を持ち、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを真の友好と平和の精神に満ちた祭典にするために、スポーツのあるくらしが、東日本大震災と原発事故の被災者はもちろん都民と国民のあいだにしっかりと根づくよう、スポーツ連盟の知恵と力を大いに発揮する時ではないでしょうか。国民的な共同を広げ、新たなレガシーを生み出すために皆さんとともに考え行動していきたいと思います。

第1回理事会は、第31回全国総会の基本的な評価と総括を行うとともに、新たな理事会の体制を役割分担、総会方針にもとづく当面の方針を決定しました。第31回総会は、

- ①半世紀の豊かな到達点の共有
- ②スポーツ権実現に向けた新たな出発点とする事
- ③若い世代への継承、女性役員の登用

という総会の3つの目標を応える総会として成功したことを確認しました。



↑第31期理事会メンバー（全国総会より）

次に、待ったなしの課題である「スポーツのひろば」普及運動の取り組みです。全国総会后ただちに行動が始まっています。京都や埼玉で、290円への値下げによって生まれた財源を生かして、チーム購読数や役員購読数を増やす努力が行われています。クラブの例会での訴えも始まっています。是非すべての連盟組織が、4月中に目標を持って、行動を開始しましょう。総会での真剣な討論を具体的な実践と成果に結びつけるよう強く訴えます。



↑札幌市スポーツ推進計画レク（北海道連盟）

理事会体制と役割分担については、今回、各活動局の責任者は全員新任の局長となり、新鮮な体制が確立しました（詳細な分担は3ページ参照）。そして、このことが、各局会議と理事会の討論と方針提案に新たな発想や創意性が発揮されたと思います。

スポーツ活動の面では、卓球のペアマッチ、ランニングのリレーマラソン、テニスの団体リーグ戦などのすぐれた経験と教訓をさらに発展させ、今日の厳しいスポーツ条件にあっても国民と愛好者、クラブ・チームの要求と期待に応える新たな活動方針・組織方針を創造し探求していきたいと思います。

スポーツのスポーツ基本法の学習と自治体への要請活動をいっそう強めることが求められています。連盟の日常活動にもとづく要求とともに自治体のスポーツ予算を分析し、スポーツ振興施策全体への要請、地方スポーツ推進計画への意見反映などをすすめましょう。

インターネット、HP、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の有効活用など、全国総会で出された様々な意見や要望にできることから早急にこたえていく努力もすすめます。最後に、創立50周年記念事業と「運動と組織の前進」の両者を一体的相乗的な取り組みへの格別のご協力を心から訴えます。

## 第31期第1回理事会より

東京都豊島区の帝京平成大学内集会室に、役員・理事30名が出席して開催されました。

第31回定期全国総会の総括では、《表1》の概要報告や総会運営の他、基本的な評価と今後の課題が提起され、総会のありかたを良くするための検討がなされました。なお、総会報告集は5月中旬の発行予定です。第31期理事会の体制・運営は、総会方針を具体化するために、3ページのとおり理事会の任務分担を決定しました。会長・理事長は直接的に局を担当せず、必要に応じて各局の会議に参加します。また、各局には局長と局次長（複数可・変更や追加も可）を置き、方針の執行にたずさわります。各局の取り組みについては、4ページ以降をご覧ください。

また、今回の理事会では、役員のレベルアップと新任理事のために、「リーダー養成講座」も実施しました。

### 《表1》第31回定期全国総会概要

#### ★出席代議員＝99名

都道府県：20組織63名

全国種目：13組織36名

定数118名 出席率83.9%

#### ★役員＝37名 傍聴＝3名

#### ★来賓＝5名 報道＝4名

#### ★メッセージ・祝電＝団体12 個人4

#### ★議決結果

第1号議案＝全会一致

第2号議案＝反対0、保留1、賛成85

第3号議案＝反対0、保留3、賛成83

ひろば価格改定案＝反対8、保留17、賛成61

#### ★発言者数18名、文書発言9名

第31回定期全国総会で第31期役員を選出、第1回理事会で任務分担を決定。

No.	役職	氏名	選出基盤	担当部局	ブロック責任者
1	継続 会長	永井 博	理事会		
2	新任 副会長	伊賀野 明	"	スポーツ活動・組織局、国際活動局	
3	継続 "	川野 弘之	"	スポーツ権・平和運動局	
4	" "	野口 信彦	"	国際活動局	
1	継続 理事長	和食 昭夫	理事会		
2	" 副理事長	青沼 裕之	"	スポーツ権・平和運動局次長	
3	" "	伊藤 司男	岩手県連盟	スポーツ活動・組織局	東北
4	" "	岩波 道子	全国卓球協議会	スポーツ権・平和運動局次長	
5	新任 "	小林 章子	東京都連盟	国際活動局長	
6	継続 "	北川 登	全国卓球協議会	スポーツ活動・組織局次長	北信越
7	新任 "	佐藤 信樹	理事会	広報局長、総務局	
8	継続 "	萩原 純一	東京都連盟	スポーツ権・平和運動局長	関東
9	新任 "	花村 哲也	日本勤労者山岳連盟	国際活動局次長	
10	継続 "	渡辺 紀雄	大阪府連盟	スポーツ活動・組織局	関西
11	" 事務局長	福島 邦夫	理事会	スポーツ活動・組織局長、総務局長	
12	継続 理事	青嶋 繁太郎	全国ウオーキング協議会	スポーツ権・平和運動局	
13	" "	天川 有美	全国テニス協会	スポーツ活動・組織局	
14	" "	石川 正三	理事会	スポーツ権・平和運動局、国際活動局	
15	" "	板垣 美和子	"	総務局次長	
16	" "	岡本 清	愛知県連盟	スポーツ権・平和運動局	
17	新任 "	小川 洋	全国スキー協議会	スポーツ活動・組織局	
18	新任 "	柿崎 勝	宮城県連盟	スポーツ活動・組織局	
19	継続 "	神田 孝	福岡県連盟	スポーツ権・平和運動局	九州
20	" "	間間 至	東京都連盟	スポーツ権・平和運動局	
21	新任 "	小山 歩	全国野球協議会	広報局	
22	継続 "	城川 善行	理事会	スポーツ活動・組織局、総務局	
23	新任 "	園川 峰紀	千葉県連盟	広報局	
24	継続 "	竹折 富美子	全国卓球協議会	広報局、総務局	
25	" "	福島 宏子	理事会	広報局次長	
26	" "	富内 佳男	徳島県連盟	スポーツ活動・組織局	四国
27	" "	長井 健治	理事会	国際活動局	
28	" "	永谷 祐一	全国テニス協会	広報局次長	東海
29	" "	根岸 清和	全国ランニングセンター	スポーツ活動・組織局	
30	" "	橋本 圭司	全国サッカー協議会	スポーツ活動・組織局	
31	" "	松岡 陽治	京都府連盟	広報局	
32	新任 "	宮内 泰明	東京都連盟	スポーツ活動・組織局次長	
33	継続 "	吉成 克実	神奈川県連盟	スポーツ権・平和運動局	
34	" "	脇村 元夫	理事会	スポーツ活動・組織局、国際活動局	
35	" "	和田 利男	兵庫県連盟	広報局	
1	新任 監事	金子 泰夫	理事会		
2	継続 "	宮久保 加乃子	"		

【 スポーツのひろば企画編集委員会：佐藤信樹（編集長・責任者）、福島宏子  
 委嘱委員＝西條晃（副編集長・東京水泳）、青木太郎（東京テニス）、岸佳子（東京水泳）、  
 小林一美（東京ランニング）、萩原栄一（東京スキー）、中村哲也（研究者）、  
 一柳英男、桂伸也（スポーツライター）、堀口初美（絵本作家見習い）、  
 倉沢知裕（会社員）、大垣晶子（元編集者） 】

【 国際活動局委嘱委員：佐藤静雄（局次長・全国RC）、佐藤好行（神奈川RC・韓国）、  
 松野俊一（サッカー協）、山口俊彦（スキー協・仏） 】

【 リーダー養成講座制作委員会：石川（責任者）、天川、小林、佐藤、脇村、福島】

【 スポーツ科学研究所準備会＝理事会より6人：青沼、間間、佐藤、宮内、和食、永井】

【 スポーツ9条の会＝理事会より4人：永井、野口、和食、青沼】

以下、理事長直轄プロジェクト

【 ひろば普及の推進＝和食、佐藤、福島でスタート】、【 連盟組織分担金検討＝総務局でスタート】

【 若手役員の登用＝若手懇談会メンバー】、【 女性役員の登用＝理事会の女性メンバー】

1) 空白での連盟の確立

空白県に県連盟結成することを全国連盟と全国種目組織の最大の課題として位置づけ取り組みます。具体的には、

- ①西日本の拠点として広島県連盟づくり
- ②九州地方での熊本県連盟づくり
- ③関東での茨城県連盟づくり
- ④東北での青森県連盟づくり

など、新しい都道府県連盟づくりに全力をあげます。

そのため、スポーツ連盟主催の「スポーツを楽しむ語る会」を計画的に行います。これは、すでにある種目組織やクラブ、出前大会等で結びついたチームや愛好者に広く協力をよびかけ、スポーツ大会や行事と懇談会をセットで取り組み、スポーツ連盟を知ってもらう活動です。「スポーツ連盟主催：スポーツを楽しむ語る会＝スポーツ懇談会」を各ブロックで1県以上の開催を目指します。

↓広島でのウォーキング教室



2) 「出前の大会・行事」の教訓化

先導種目の卓球、ミックスバレーボール、バドミントン、テニス、ウォーキング、ランニングにおいては、種目の情報収集をして公開交流をします。上記以外のスキー、水泳、バレーボール、サッカー、ソフトボールは、全国の各種目組織の協力を得て、それぞれの都道府県連盟、ブロックで新しい展開を図ります。

また、「空白組織対策事業助成制度」の活用を大いにはかります。制度についての案内文と申請書を、4月末に全国種目、都道府県連盟等へ送付予定です。

3) スポーツ要求とスポーツ活動参加動向の変化に対応した活動

まだまだスポーツ連盟の存在を知らない愛好者が多くいます。スポーツ連盟との出会いの場を多く作り、スポーツの楽しみを広げます。これまで生み出してきた卓球のペアマッチやテニスの団体リーグ戦、リレーマラソンなどの創造性を生かすとともに、新たな変化を分析し、愛好者の条件と要求に即した競技会・行事を企画・実践し、新たな組織化にチャレンジすることが求められています。そのために、全国連盟も都道府県連盟・全国種目組織と協力して取り組みます。



少年ミニサッカー大会(千葉)



障がい者卓球大会(愛知)

また、高校生以下のジュニア層、障がい者、高齢者、平日大会で活動の広がりを作ります。

4) 創立50周年に向けた積極的な組織強化拡大目標

- ①大会・行事への年間参加者の倍加をめざす。
- ②障がい者、女性、子どもなどのスポーツ行事にチャレンジする。
- ③県連盟を30都道府県以上で確立する。
- ④全国種目組織は、当面15都道府県に県種目組織を作り、引き続き過半数以上をめざす。県連盟は、当面5種目以上の種目組織を持ち、5種目以上のところは10種目以上をめざす。

これらの活動の促進のため、『組織拡大交流会議』を2014年は西日本で2015年は東日本で開催します。

5) 全国スポーツ祭典と全国競技大会

第30回全国スポーツ祭典は2014年、東海ブロックを中心に開催します。東海ブロックの発意により、前回に続き東日本大震災の被災地から参加する選手・チームの出場費を援助・支援します。なお、今回の全国スポーツ祭典の取り組みと並行して、全国スポーツ祭典の今日的意義をより明確にし、新たな発展をめざす方針を検討していきます。

2015年に行われる全国種目組織主催の全国競技大会は、それぞれの特長を生かし、次回の全国スポーツ祭典と全国種目組織の組織強化に結実する取り組みとして成功させるようよびかけます。第31回全国スポーツ祭典(2016年)は、関西ブロック開催の方向で要請し、現在推進中です。

↓第30回全国スポーツ祭典ポスター



4月12～13日の2日間にわたる局会議は、活発な議論がされました。当面の課題について、要点を紹介し、全国の連盟組織が大きな運動展開ができるようにサポートしていきたいと考えています。課題は、大きく4つにまとめました。

### 1) 「スポーツ基本法」に基づいた自治体のスポーツ施策への提言や討論を巻き起こす活動

全国の自治体が、旧来のスポーツ推進施策から、基本法にある「権利」と「責務」の関係を具体化できるように積極的な提言をしていくことが求められています。誰もがスポーツをする権利があるのですから、施設整備の計画が具体的になっているか、必要な予算措置が取られているのか、すべての人々を対象にした施策になっているか等々確認するとともに、具体的なスポーツ要求を予算化してもらおう交渉を全国各地で展開したいです。

自治体交渉が実現した都道府県連盟、地域組織、あるいは種目組織は、スポーツ権・平和運動局までその内容をお知らせください。

### 2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック

都民、市民参加の準備活動にし、震災復興や原発事故の収束、世界平和や友好の促進に寄与できるようにさせることが大変重要になっています。もはやオリンピック・パラリンピックは、東京都の問題ではなく、文科省が主導する形で動いています。国のスポーツが、本当にアスリートファーストとなり、スポーツ権への具体

化に結び付くオリンピック・パラリンピックにするために、スポーツ団体としては大いに発言し、世論を巻き起こすことが求められています。東京では、「2020オリンピック・パラリンピックを考える都民の会」を立ち上げ活動しています。現在、代替施設の確保や自然を守るために計画の変更をもとめる1万人請願署名を展開しています。各連盟組織でも署名運動にご協力をお願いします。

### 3) 反核平和の取り組み

今年も、5月の和歌山県を皮切りに、全国各地で反核平和マラソンが開催されます。原発再稼働の動きが大きな問題になっている今だからこそ、スポーツマンの反核平和への思いをアピールすることが大切です。今年も、福島でも初めて反核平和マラソンが行われます。全国ランニングセンターが応援する形で福島民医連の方々がこの運動に立ち上がりました。来年の1500km反核平和マラソンにつなげる運動として注目されています。また、毎週金曜日の官邸前行動、国会前行動にスポーツ連盟としても参加をよびかけ広がっていきます。

### 4) スポーツの場面での暴力問題

あるスポーツ団体では、体罰暴力、暴言に対する宣誓書を指導者に求めています。一方で「誰が見ているかわからないので」という程度の注意です。これでは、スポーツにおける暴力問題は解決しません。引き続き、スポーツ界全体の問題として、「体罰暴力はスポーツと相いれない」ことを世論喚起していきます。

復興支援

スキーの楽しさを広げる

「子どもスキー」に取り組んで



春休み子どもスキー in 岩手 (2014年)

「スキーのできることを」の声を具体化し、おおくの支援をいただいて「子どもスキー」を3年間取り組んできました。“それはもう、子どもたちは大喜びでした”と、各地で取り組んだ方々の共通の反応。その様子は、子どもたちが家路についてから保護者に伝えられ「楽しかったと話してくれました。本当に楽しかったようです」と、電話での会話からも伝わってきます。

北海道、山形、岩手、宮城、福島、埼玉で「震災支援行事」は取り組まれました。この3年間、それぞれの地域の取り組み方は違いますが、約800名もの子どもたちがスキーを楽しみました。参加いただいたボランティアの方々も400名にもなりました。そして何よりも、スポーツ連盟各種目や役員、FSGTの方々も含めて800万円を超える募金が寄せられました。スキー協の「子どもスキー」は、こうした多くの方々の協力で行ったと思っています。全ての方々にお礼をしなければならぬのですが、誌面をお借りしてお礼申し上げます。

(全国勤労者スキー協議会理事長 石川正三)

## 1) FSGT関係(フランス)

①5月14日(水)～21日(水)、初めて卓球の代表団を招待します。スポーツ連盟が開発したペアマッチという競技方法の大会などに参加してもらい、全国卓球協議会と組織間交流を中心に情報交換をする予定。フランスだけでなくヨーロッパの卓球事情を吸収しスポーツ連盟の活動に活かしたい。交流が持続するように努力します。

②5月25日(日)～31日(日)のTPC30周年記念大会に招待され、関西2名、関東3名(男性4名、女性1名)が参加します。TPCとはツール・ド・ペイ・ド・コーの略で、4日間で87.73km走るロードレースです。ノルマンディー地方で開催されます。長年の招待への感謝伝えるとともに今後の展望を探りたいと思います。



昨年の  
TPC参加ランナー

## 2) 韓国市民連帯関係(韓国)

反核平和マラソンや韓国の反戦平和マラソンを通じて交流をします。昨年、韓国でおこなわれた反戦平和マラソンと国際シンポジウムにはフランスのFSGTの代表団も参加し、韓仏日と広がり

韓国反核平和マラソン



ました。日本は政治的には韓国と不協和音がありますが、スポーツの力で乗り越えたいと思います。

## 3) 在日外国人スポーツ交流について

つながりのできた日本語学校をひろげて種目を紹介し、練習会や大会につなげています。

すでに横浜ビビチタでは日本語学校のメールリストで参加募集を送りましたが、反核平和マラソンや、ゆりかもめリレーマラソンにも参加してもらおうよう募集します。そのほかの種目でも在日外国人のかたが参加できる機会を増やすよう要望していきます。在日外国人のかたのスポーツ要求を探り、実現できる方法を提供します。フットサルは継続して交流していきたい。

## 4) 海外情勢

CSIT(国際労働者スポーツ連盟)の動向はHPでチェックしていきます。さらに2015年の50周年にむけて東アジアの国々に力点をおいた取り組み推進するとともに、ラテンアメリカなどの新興国の情報を収集する予定です。

## 5) その他

反核平和マラソンでは、スポーツ権・平和運動局と連携し、福島での試行に協力します。全国スキー協とフランスFSGTの交流計画は、2019年に招待する予定となりました。

FSGTとのスキー交流



## 新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所 設立準備会の活動方針

2014年11月に新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所を創設するまでの活動計画は以下の通りです。

1. 趣意書案と規約案の検討と確定
2. 設立募金と会員募集の計画  
—設立募金は210万円を超えました。ご協力に感謝します。しかし、目標額の500万円にはまだ及びません。以下の諸点を検討し目標額を達成できるように努力したいと思います。①早急に都道府県連盟と全国種目別連盟に協力していただく募金計画を立てる。②10月末までに第2期の大口募金と会員募集の計画を立てる。
3. 第4回スポーツ討論集会の企画と実施
4. 第5回スポーツ討論集会の企画と実施
5. スポーツ科学研究所設立総会の準備と開催
6. 「研究年報」の名称と発行計画

### 第4回スポーツ討論集会

「競技施設建設計画の現状と課題・対案」

期日 2014年5月31日(土) 午後1時30分～17時

会場 エデュカス東京(有楽町線麴町駅徒歩5分)

語り手 ①競技施設建設予定地の現地調査報告

萩原純一氏(「都民の会」事務局長)

②国立競技場のあり方を考える

森まゆみ氏(「神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会」代表)

③開催時期の気象条件と選手・観客の安全を考える

伊藤静夫氏(日本体育協会スポーツ科学研究室)

④自然保護とオリンピック

飯田陳也氏(日本野鳥の会東京)

お問い合わせ TEL03-3981-1345(東京都連盟)

(スポーツ科学研究所設立準備会 青沼裕之)

広報局は、前期に引き続き「広報4ツール（全国連盟通信、宣伝物・ニュース、スポーツのひろば、ホームページ）」を活用することで、スポーツ連盟を広くアピールする活動を行います。

1)「全国連盟通信」

なるべく多くのスポーツ連盟関係者に伝わるよう、普及に努めます。また、全国連盟の動きがわかるよう、機関誌「スポーツのひろば」にも「全国連盟通信」の内容を掲載します。

2) 宣伝物・「ニュース」

①全国スポーツ祭典チラシ

各予選大会が全国大会につながっていることを宣伝するために、祭典開催年の2月末までに作成できるよう取り組みます。そのため、次回の全国祭典（2016年関西ブロック）では、早期にポスターデザインを決定できるよう、祭典実行委員会と調整しながら検討します。2014年全国祭典のチラシについては、制作を見送ることにします。

②スポーツ連盟リーフレット

2014年改訂版を作成し、全国の組織に配布します（あまり大きくない組織には多めに配布）。是非、組織拡大や自治体交渉などに大いに活用してください。現在、各組織の要望に応じて、それぞれのリーフレットを作成できるようなシステムを検討中です。

3)「スポーツのひろば」

目標は、2500部以上（2015年3月まで）です。普及策については「ひろば普及プロジェクト（全国連盟理事長、事務局長、広報局長）」と連携して取り組みます。290円に値下げしたことをアピールする宣伝物を作成して配布しますので、ぜひ活用してください。また、「友達にひろばを購読するよう薦めましょう」キャンペーンを検討中です。読者推移や増誌の報告などについては、「ひろば普及ニュース」として発行する予定です。

4) ホームページ・インターネット

より良いホームページとなるように「ホームページ制作委員会」の設置を検討します。

ホームページ自体の宣伝も推進します。是非ホームページアドレス (<http://www.njsf.net/>) やQRコード（広報局から提供予定）をいろいろなところ（リーフレット、Tシャツ）に載せてもらえると幸いです。

また、フェイスブック、ツイッターで、スポーツ連盟の活動、スポーツの話題などの情報を発信しています。



フェイスブック

[facebook.com/sportsrenmei](https://www.facebook.com/sportsrenmei)



ツイッター

[twitter.com/sportsrenmei](https://twitter.com/sportsrenmei)

※広報局からのお願い 全国種目組織と都道府県連盟を対象に「広報ツールに関するアンケート」を行っています。ご協力のほどよろしくお願いします。

新日本スポーツ連盟附属

スポーツ科学研究所への入会と設立募金のお願い

現在、新日本スポーツ連盟では、連盟会員をはじめとするスポーツ愛好者の競技力向上の要望に応え、組織建設上の課題を究明し、国や地方自治体のスポーツ政策・行財政を分析し我々の対案を示しうる研究運動組織として、新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所を設立する準備を進めております。2014年11月の設立総会までにはすべての準備を完了せねばなりません。

スポーツ科学研究所が、「趣意書」と「規約」に掲げられた広範な研究課題のもと、必要な資料を収集・研究し、『年報』の発行や叢書の出版を実行していく

ためには、設立資金と運営経費がどうしても必要です。皆さんの心からのご支援をお願いする次第です。募金の目標額は500万円です。どうぞ、ご協力お願い致します。

また、設立準備会としては、継続して精力的に研究を進めて頂ける方の入会を募っております。「趣意書」と「規約」に賛同して頂ける方であれば、どなたでも入会できる開かれた組織です。どうぞ設立の趣旨をご理解頂き、多くの方々が入会して下さることを希望致します。年会費は5000円（個人）と10000円（団体）を予定しています。（青沼裕之）

募金にご協力いただける方は  
右記の口座宛にお振込ください

※入会申込書は全国連盟まで

郵便局口座記号番号：00120-4-549943

加入者名：新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所

第31期全国会議及び主要事業予定一覧（2014年 5月～2015年 2月）

月日	全国会議・事業	都道府県連盟・全国種目組織
<b>【2014年】</b>		
5月	3～5日	全国RC：伊豆ランニングクリニック
	6日	原水爆禁止国民平和進行東京～広島スタート
	11日	和歌山反核平和マラソン
	12～23日	仏・国際障がい者陸上競技大会
	14～21日	仏FSGT招待卓球交流
	17日	全国卓球協総会
	18日	滋賀県連盟総会
	25日	和歌山反核平和マラソン
	24～25日	全国野球協：選抜野球大会（静岡・草薙、清水庵原）
	25～6月2日	T P C 第30回記念大会
6月	7日	神奈川県連盟総会
	7日	東北ブロック会議
	8日	名古屋1周平和大好きマラソン
	14日	富山～石川反核平和マラソン
	14～15日	全国勤労者スキー協議会総会
	14～15日	全国スポーツ祭典バドミントン団体（静岡）
	15日	京都反核平和マラソン
	15日	三重県連盟総会
	21～22日	全国ランニングセンター総会（宮城）
	22日	兵庫県連盟総会
	24日	石川～福井反核平和マラソン
	29日	群馬反核平和マラソン
		愛知県連盟総会、長野県連盟総会
	石川県連盟総会、宮城県連盟総会	
7月	6日	関西網の目反核平和マラソン
	6日	三重反核平和マラソン&ウォーキング
	6日	和歌山平和大好きマラソン
		宮城反核平和マラソン
	12～13日	神奈川反核平和マラソン
	13日	大阪府連盟総会
	13日	兵庫反核平和マラソン
	13日	千葉反核平和マラソン
	20日	にこにこペースの反核平和マラソン（福岡）
	26日	東京反核平和マラソン
8月		全国ソフトボール協議会総会
		全国ランニングセンター：信州クリニック
	3日	石川反核平和マラソン
	3日	愛知：鶴舞あいち反核平和マラソン&ジョッキン
	6日	滋賀：反核平和マラソン
	6～8日	反核平和マラソン（広島～長崎）
	30～31日	関東ブロックスポーツセミナー
30～31日	全国スポーツ祭典バドミントン大会（愛知）	
9月	6～7日	31期第2回三役会議・理事会
	28日（予）	西日本スポーツセミナー（和歌山）
10月	4日	東北ブロック会議
	11～12日	全国スポーツ祭典ウォーキング（三重）
11月	1～2日（予）	全国スポーツ祭典ソフトボール大会
	3日	全国スポーツ祭典水泳大会
	9日（予）	全国スポーツ祭典ゴルフ大会（岐阜）
	15～16日	全国スポーツ祭典野球大会（静岡）
	16日	全国スポーツ祭典陸上競技大会（京都）
		全国サッカー協シニアサッカー大会
	22～23日	全国スポーツ祭典バレーボール大会（愛知）
29～30日	全国スポーツ祭典ミックスバレー大会（愛知）	
12月		アジア山岳連盟総会・創立20周年記念行事
		富山県連盟総会
	6～7日	全国スポーツ祭典バドミントン大会個人（静岡）
	6～7日	全国スポーツ祭典卓球大会一般（千葉）
	7日	愛知：高蔵寺弾薬庫1周平和マラソン
	13～14日	全国スポーツ祭典サッカー大会（愛知）
	13～14日 31期第3回三役会議・理事会	
	20～21日 全国スポーツ祭典テニス大会	
<b>【2015年】</b>		
1月		全国縦断新春マラソン
	24～25日	全国スポーツ祭典卓球大会年代別（愛知）
2月		全国スキー協カブ
	21～22日	31期第1回評議員会・第4回理事会

\* 追加・訂正があれば全国事務局まで随時ご連絡ください。